

2022 年 4 月 27 日

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン、香川県内の トクホ製品および機能性表示食品の売り上げの一部を香川県へ寄付

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長 最高経営責任者:カリン・ドラガン 以下当社)は、香川県との「健康増進の推進に関する協定」に基づき、当社が香川県内で販売する特定保健用食品および機能性表示食品の売り上げの一部を寄付しました。寄付にあたり、4 月 27 日に香川県健康福祉部長 三好 謙一様を訪問し、寄付金目録を贈呈しました。



左より、香川県健康福祉部長 三好 謙一 様、当社 ベンディング中四国地区統括部長 川東 秀蔵

寄付は 2017 年 10 月に香川県と締結した「健康増進の推進に関する協定」に基づき毎年実施しており、今回で 5 回目となります。寄付金は、楽しみながら健康づくりの習慣化を後押しする仕組みである、かがわ健康ポイント事業『マイチャレかがわ!』^{※1}で、ご活用いただいております。

※1 かがわ健康ポイント事業『マイチャレかがわ!』 専用サイト URL : <https://mychalle-kagawa.com/>

【目録贈呈の概要】

- 贈呈日：2022 年 4 月 27 日（水）
- 納付先：香川県
- 寄付金額：430,849 円（売上対象期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

【香川県 健康福祉部長 三好 謙一様のコメント】

日頃から健康増進活動に積極的に取り組まれ、本県の事業にも多大なご協力をいただいていますことを深く感謝いたします。近年、健康や食への関心が高まる一方、食習慣の乱れや栄養の偏り、運動不足が起因する生活習慣病の増加が大きな問題になっています。とりわけ香川県では糖尿病の死亡率、受療率が全国上位に位置していることから、子どもから高齢者まで県民一人ひとりが食事や運動に関する正しい知識を身につけるとともにコロナ禍においても工夫して生活習慣を実践するということが重要と考えております。このような状況を踏まえ、香川県では「健やか香川 21 ヘルスプラン」に沿って、県民自ら健康づくりに取り組むことを基本に、ライフステージに応じた総合的な健康づくりを総合的に推進しています。貴社には県民の健康増進そして「健康長寿かがわ」の実現に向け香川県内で販売する特定保健用食品、機能性表示食品の売り上げの一部を本県にご寄付いただくとともに、香川県の生活習慣病対策の推進などに関する事業を支援していただいております。今回のご厚志につきましても運動・食事などの生活習慣の改善、検診の受診、健康づくりの取り組みに対して特典を付与する仕組みによって健康づくり行動の習慣化を後押しする、かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ！」に活用させていただきます。

【当社 ベンディング中四国地区統括部長 川東 秀蔵のコメント】

2017 年 10 月からスタートいたしました、この取り組みにもとづく寄付金贈呈も、今回で 5 回目を迎えることができました。香川県におかれましては、私たちがお届けしている、トクホ製品や機能性表示食品の売り上げの一部を、かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ！」にお役立ていただいているということは、まさに私たちの目指す「ミッション」の達成になっていると考えています。今年は、「瀬戸内国際芸術祭」や、「四国総体」が開催され、香川県にも人流が戻ることが予想されます。関係者のみなさまは、開幕に向けて大変なご苦勞のもと準備を進められたことと思います。当社も本業を通じて地域に貢献していくために、日常生活に欠かせない安全で信頼できる製品やサービスの提供に努めてまいります。

【寄付対象製品】

7 品目 8 パッケージ

- | | | |
|------------|---------------|---------------------|
| ■ 特定保健用食品： | コカ・コーラ プラス | 470mlPET ボトル |
| | からだすこやか茶 W | 350ml、1.05L PET ボトル |
| | 綾鷹 特選茶 | 500mlPET ボトル |
| ■ 機能性表示食品： | からだおだやか茶W | 350mlPET ボトル |
| | からだ巡茶 Advance | 410mlPET ボトル |
| | 爽健美茶 健康素材の麦茶 | 600mlPET ボトル |
| | ー（はじめ）緑茶 一日一本 | 500mlPET ボトル |



当社は、企業理念「Paint it RED! 未来を塗りかえろ。」のもと、すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造するという「ミッション」の達成を目指し、本業を通じて地域が抱える課題を解決するため、共創価値の創造（Creating Shared Value：CSV）に取り組み、今後もあらゆるパートナーのみなさまと連携をはかってまいります。

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のもです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。